

資料 6

第 26 回設置協議会資料

平成 26 年 6 月 20 日

学園章デザイン案

第 3 回学園章検討部会（平成 26 年 5 月 23 日開催）にて 12 案から 4 案を選出



- ・ 3個の矢印の集合は3校が一つになり、新校が誕生した証。
- ・ 中心の円には「和泉」の文字を配置し、学園名を明示。その周りに広がる「ギザギザ」は太陽の広がり。さらにその周りの図形は湧き出す「泉」の波紋。

- ・ 下から勢い良く湧き上がる「泉」の水しぶきは、力強い生命力の象徴。突き上げるパワーで「矢印(小中一貫教育)」を突き上げる。
- ・ 水しぶきは大きく広げた「翼」の羽ばたきを重ねている。また、全体のフォルムは花が開いたようなイメージをもたせている。



- ・ マークの黒い部分は漢字の「泉」の文字をデフォルメしたもの。「矢印(小中一貫教育)」の形もイメージしている。
- ・ その周りを飾るラインの放射は「泉」の広がりをデフォルメ。輝き光を放っているイメージを重ねている。



- ・ 西洋の「エンブレム」的なデザイン案。左右には月桂樹の葉をイメージし、「泉」の湧き出る水のしぶきを表している。「SIG」は伝統的な書体を使用。
- ・ 上部の冠は「ミルククラウン」をイメージ。その上部の突起は「小中一貫教育」を象徴。他校の児童・生徒たちに憧れられるデザイン。



その他提示された図案

<p>ア</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・大きな矢印は3校が一つに合体して、太く力強い「矢印」となって「天(理想とする教育像)」に向かい突き進んでいくイメージ。 ・「矢印」は「小中一貫教育校」であることを強く表現。その矢印が「泉」の波紋を広げていく。また、大地にしっかり根を下ろした大樹のイメージも重ねている。
<p>イ</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・全体のフォルムは「ロケット」をイメージ。下から噴射するパワー(3校の伝統)が力強く吹き出し「小中一貫教育」を推進していく。 ・矢印が理想の「泉」の波紋を広げていく。「泉」には「雲」のイメージも重ねている。
<p>ウ</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・下から勢い良く湧き上がる「泉」の水しぶきは上に行く程、大きく力強くなる。 ・上の大きなリングは「花」「太陽」をイメージ。「小中一貫教育」が花開くイメージ。児童・生徒が明るく楽しく、幸福な学園生活を送るイメージ。
<p>エ</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・西洋の「エンブレム」的なデザイン案。新しく生まれる学園は日本の伝統的な「校章」のイメージに囚われず、「小中一貫教育」という新しい教育方針に似合う新しい形。 ・左右から取り巻くパターンは「泉」の湧き出る水のしぶき。中心を貫くラインは「小中一貫教育」を象徴。上部の「冠」は「ミルククラウン」をイメージ。
<p>オ</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・全体を囲む波型の円は「泉」を上部から見たイメージ。「太陽」にも見て取れる。 ・センターには漢字の「泉」の文字を象徴化。「泉」の文字の中心のラインを上下に伸ばし「一貫」をイメージ。
<p>カ</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・「杉並和泉学園」の頭文字「SIG」を象徴的にデザインした案。「泉」の波紋が広がっていくその中心を、頭文字の「i」が貫く(小中一貫教育)。 ・その上に「人」を乗せることで「人」のイメージにも「i」にも見て取れる。
<p>キ</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・「杉並和泉学園」の頭文字「i」を象徴的にデザインした案。「泉」の波紋は渦を巻くように力強く広がっていく。 ・左右にはね飛んだ「しぶき」と「i」が組み合せて、児童・生徒が両手を広げているような形は、充実した学園生活に重ねている。「i」の突き立つラインは「小中一貫教育」をイメージ。
<p>ク</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・イメージを固定化しない案。デザインの元は湧き出る「泉」を真上から見た形をデフォルメ。しかし、見た人々がそれぞれ自由な発想で解釈すればいい。 ・「花?」「雪?」「星?」「アーマー?」何十年も続くであろう新校の「歴史(進化)」にあわせて「学園章」に込められる思いも「進化」していく。